

令和7年度

学力向上推進員研修会資料【小学校部会・算数】

徳島県学力ステップアップテストを
活用した学習指導について



令和7年4月

令和7年度
小学校第5学年
算 数

注 意

1 「始め」の合図があるまで、中を開かないでください。

2 先生の指示があつてから、組、出席番号、名前を書いてください。

3 問題は、1ページから12ページまであります。

4 答えは、すべて解答用紙の指示された場所に、はっきりと書いてください。

5 問題用紙のあいている場所は、自由に使ってもかまいません。

組	出席番号	名	前

A colorful illustration featuring a yellow ruler with black markings. Scattered around the ruler are various numbers in different colors: 1 (blue), 2 (pink), 8 (red), 1 (red), 3 (yellow), 5 (yellow), and 2 (blue). There are also small red plus signs and a yellow triangle.

令和7年度 徳島県学力ステップアップテスト【小学校算数】

2

お話しすること

- 1 領域別結果
- 2 設問別結果
- 3 調査問題の概要と学習指導の
改善・充実のポイント
- 4 その他

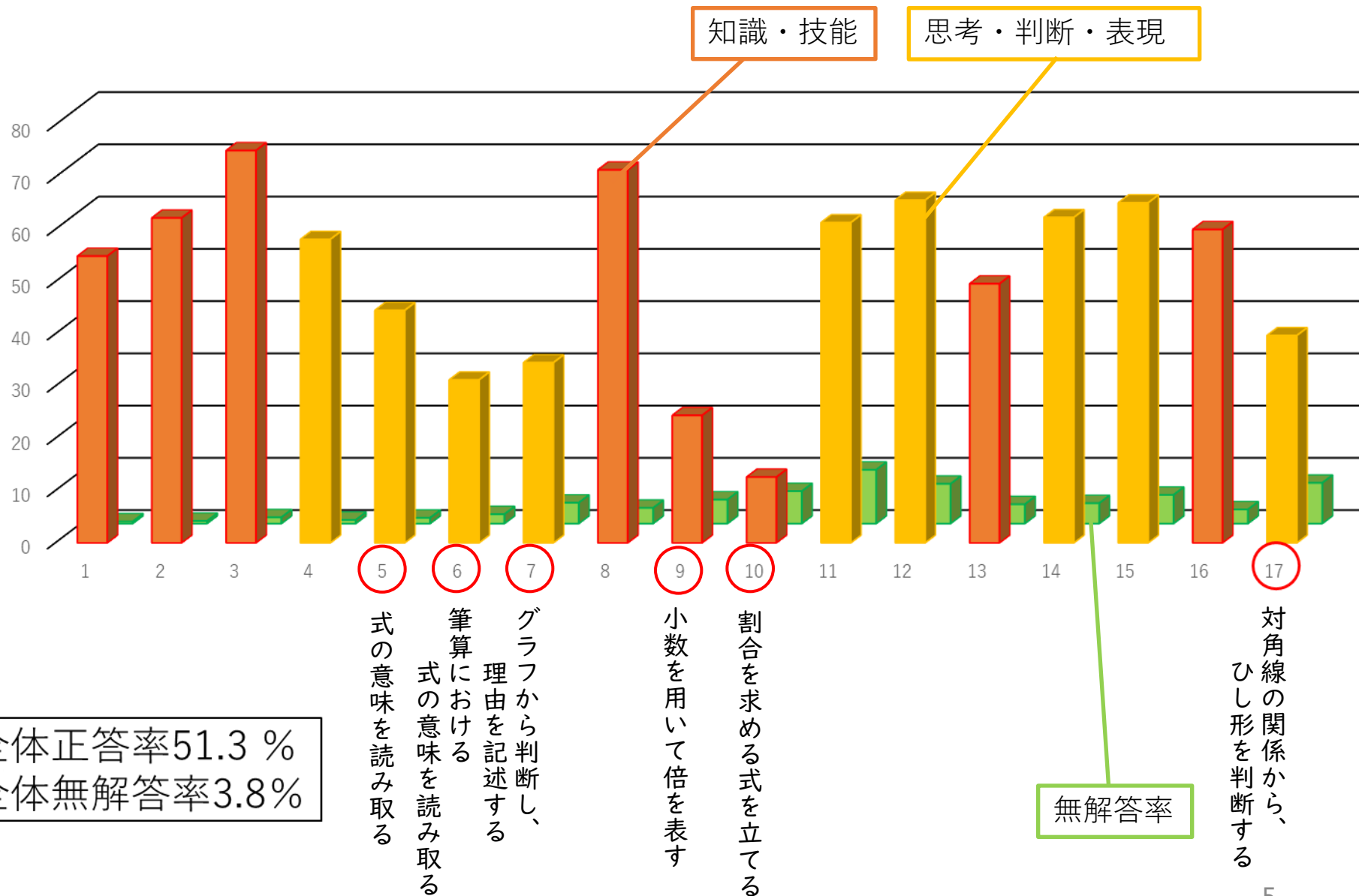
第5学年 領域別結果

全体・領域別 正答率（％）

	全体	数と計算	図 形	変化と 関係	データの 活用
令和7年度 5年生	51.3 (3.8)	43.4 (1.7)	57.6 (3.2)	48.4 (6.5)	56.2 (4.6)
令和6年度 4年生	50.5 (5.8)	57.2 (2.9)	46.2 (8.0)	47.3 (4.2)	43.5 (11.1)

※（ ）は無解答率

第5学年 設問別結果



「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）

主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

授業改善

資質・能力の育成

一体的に
充実

授業外の
学習の改善

学習内容の確実な定着

自ら学習を調整

必要に応じた
重点的な指導、
指導方法等の工夫

各々の特性・学習
進捗・学習到達度等

指導の個別化

個別最適な学び（教師視点では「個に応じた指導」）

修得主義 ・個々人の学習状況に応じて学習内容を提供 ・一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視

の考え方を生かす

学習を深め、広げる

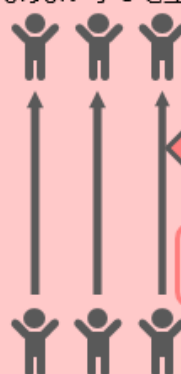
自ら学習を調整

一人一人に
応じた学習活動・
学習課題の提供

各々の興味・関心・
キャリア形成の方向性等

学習の個性化

異なる考え方が組み合わせり
よりよい学びを生み出す



多様な
他者と協働

一人一人の
よい点・可能性

協働的な学び

クラスメイト

異学年・他校の子供

地域の人

専門家

等

これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

平成29,30年改訂
学習指導要領 前文

履修主義
の考え方を生かす

・集団に対して共通に教育を行う ・一定の期間の中で個々人の多様な成長を包含

**数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、
数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。**

知識及び技能

数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。

思考力、判断力、表現力等

日常の事象を数学的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。

学びに向かう力、人間性等

数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、
数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

数学的な見方・考え方とは

事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えること

「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の全てに対して、働かせるもの

[解説p.23参照]

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、
 数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(2) 「A 数と計算」の内容の概観

数学的な 見方・考 え方	数の表し方の仕組み、数量の関係や問題場面の数量の関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考えたり、統合的・発展的に考えたりすること			
	数の概念について理解し、その表し方や数の性質について考察すること	計算の意味と方法について考察すること	式に表したり式に表されている関係を考察したりすること	数と式の計算を日常生活に生かすこと
第1学年	2位数、簡単な3位数の比べ方や数え方	- 加法及び減法の意味 1位数や簡単な2位数の加法及び減法	加法及び減法の場面の式表現・式読み	- 数の活用 - 加法、減法の活用
第2学年	4位数、1万の比べ方や数え方 - 数の相対的な大きさ - 簡単な分数	- 乗法の意味 2位数や簡単な3位数の加法及び減法 - 乗法九九、簡単な2位数の乗法 - 加法の交換法則、結合法則	- 乗法の場面の式表現・式読み - 加法と減法の相互関係 () や□を用いた式	- 大きな数の活用 - 乗法の活用

[解説p.42参照]

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、
数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

A	数と計算	数の表し方の仕組み、数量の関係や問題場面の数量の関係など
B	図形	図形を構成する要素、それらの位置関係や図形間の関係など
C	測定	身の回りにあるものの特徴など
	変化と関係	二つの数量の関係など
D	データの活用	日常生活の問題解決のために、データの特徴と傾向など

〇〇に着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考えたり、
統合的・発展的に考えたりすること

[解説p.42-67参照]

**数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、
数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。**

統合的に考える

異なる複数の事柄をある観点から捉え、
それらに共通点を見いだして一つのものとして捉え直すこと

つまり、～と同じってことだね。



- ・ 小数のしくみの学習 → 「整数のしくみはどうだった？」
- ・ 重さの普遍単位（g）の学習 → 「長さやかさの単位は？」
- ・ 角柱の学習 → 「立方体や直方体も角柱？」

**数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、
数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。**

発展的に考える

物事を固定的なもの、確定的なものと考えず、
絶えず考察の範囲を広げていくことで新しい知識や理解を得ようとする

だったら、こんなときは？

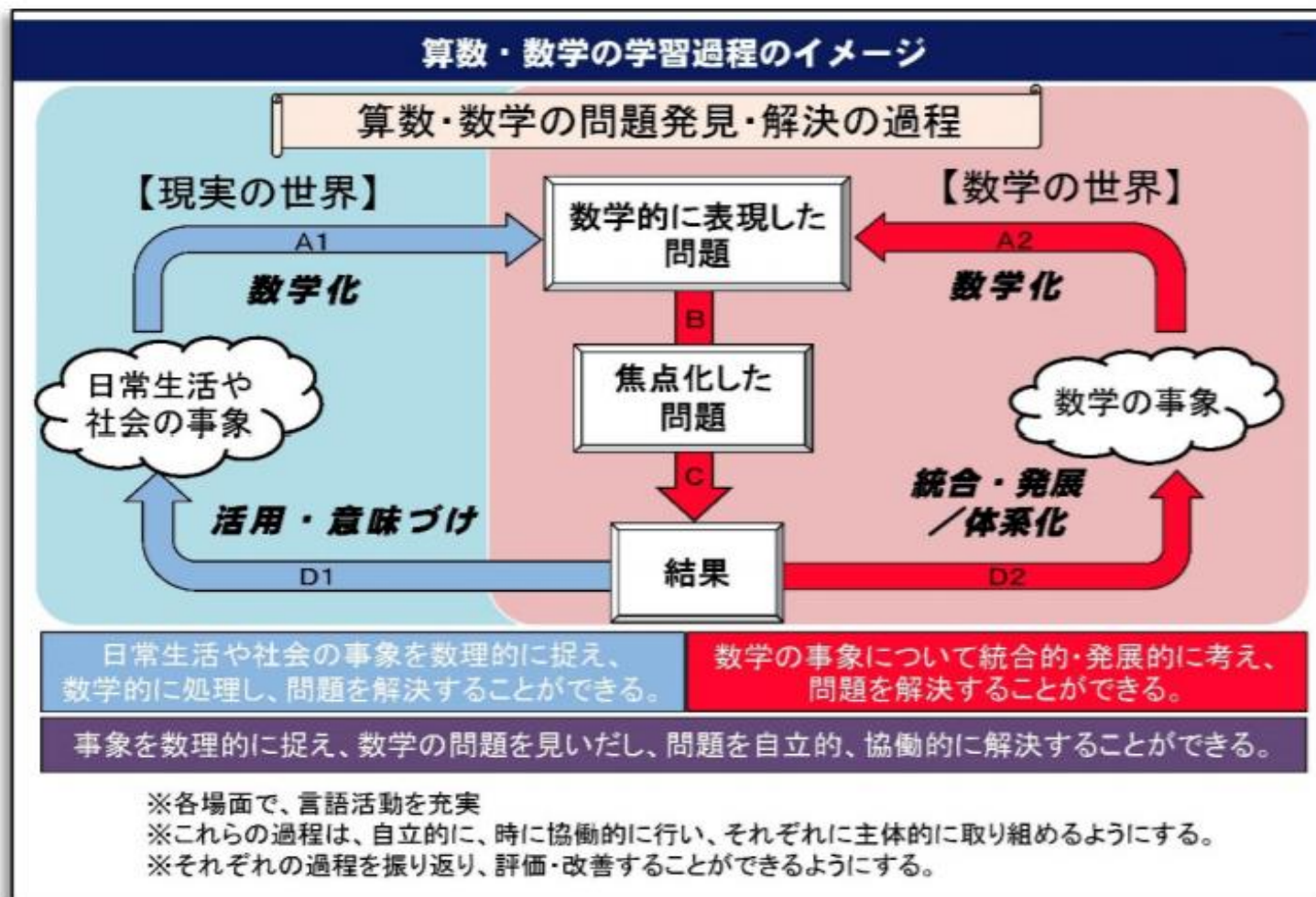


・ 数を1つ大きくしてみると？



・ 分数のたし算の仕方は分かった。ひき算のときはどうする？

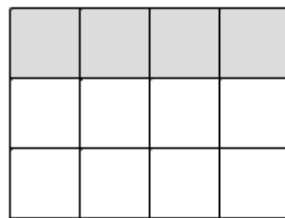
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、
数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。



調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

1

(1) 次の長方形の色をぬった部分を表す分数を、あとのアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。



ア $\frac{1}{4}$

イ $\frac{1}{3}$

ウ $\frac{4}{8}$

エ $\frac{2}{3}$

正答率 54.9%
無解答率 0.4%

分数の意味について理解している。【A/知】

もとの大きさ

○もとの大きさを可視化

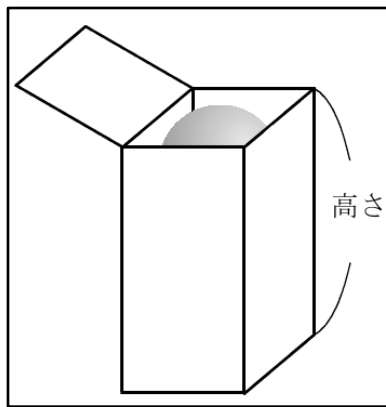
○何がいくつ分かを問う

→一人一人が説明する場をつくる

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

1

(4) 次の図のように、直方体の形をした箱の中に半径 3 cm のボールがぴったり 2 こ入っています。この箱の高さは何 cm ですか。答えを書きましょう。



図形を構成する要素の関係を捉え、直方体の高さを求めることができる。【B/思】

正答率 58.1 %
無解答率 0.7 %

Tokushima Navi ~No.5~
(令和 6 年 1 0 月) 参照

令和 6 年度全国学力・学習状況調査
全国正答率 36.5 %
徳島県正答率 全国差 -2.7 %

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント



Tokushima Navi

令和6年10月

徳島県教育委員会

義務教育課

～ No. 5～

算数
その1

令和6年度全国学力・学習状況調査結果等を受けて、算数科における課題の改善点を紹介をします。授業アイデア例の「敢えて教師が問い掛けているところ」や「児童主体の学びとなる展開」を日々の実践に生かしていきましょう。

課題 球の直径の長さで立方体の1辺の長さを捉え、立方体の体積の求め方を式に表す

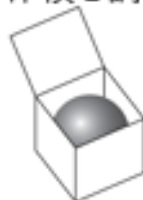
平均正答率 徳島県33.8% 全国36.5%

3 (3)

直径22cmの球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

授業アイデア例

ボールが入った箱の体積を求めよう 第5学年

児童のつまづき

「ボールの直径」や「立方体の体積の求め方」については理解していたとしても、本設問のように「ボールの直径」と「立方体の1辺」の関係を捉えて問題解決することはできていないと考えられる。

授業改善

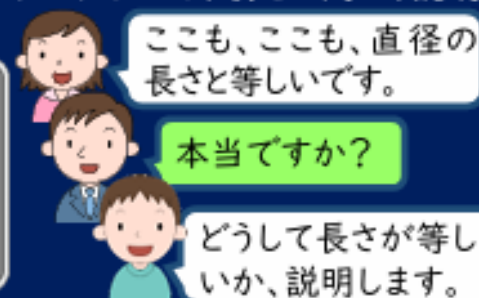
ボールを直方体などではさみ測定する活動においては、タブレットで撮影し、

児童がペンでボールの直径の長さを可視化する。ボールの直径の長さが、

ボールと直方体が接していないところの長さに対応していることを捉えられるようにするため、敢えて問い、説明する場を設ける。



学習指導要領解説
算数編P162より



調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

2



なおみ

わたしは、 100×20 + 80×20 の式で求められると思います。

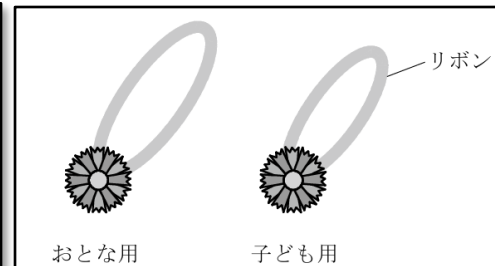


あきら

わたしは、($100 + 80$) $\times 20$ の式で求められると思います。

なおみさんの「 100×20 」とあきらさんの「 $100 + 80$ 」は、それぞれ何を表していますか。次のアからエまでのの中から1つずつ選んで、その記号を書きましょう。

- ア おとな用のメダル20こに必要なリボンの長さ
- イ 子ども用のメダル20こに必要なリボンの長さ
- ウ おとな用のメダル1こと子ども用のメダル1こに必要なリボンの長さ
- エ おとな用のメダル20こと子ども用のメダル20こに必要なリボンの長さ



正答率	44.5%
無解答率	1.1%

() を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができる。【A/思】

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

3

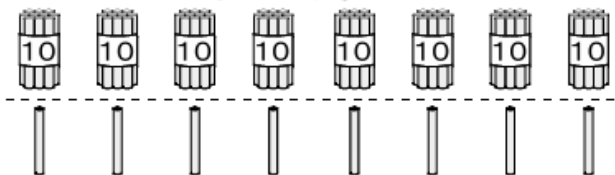
【88÷2の筆算】

【まことさんの説明】

手順1

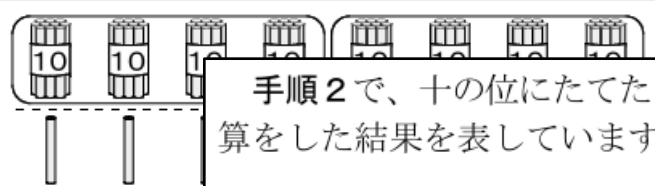
$$\begin{array}{r} 2 \overline{)88} \end{array}$$

80について考えます。



手順2

$$\begin{array}{r} 4 \\ 2 \overline{)88} \\ \underline{8} \end{array}$$



手順3

$$\begin{array}{r} 4 \\ 2 \overline{)88} \\ \underline{8} \quad 8 \end{array}$$



正答率 31.2 %
無解答率 1.8 %

手順2で、十の位にたてた「4」は、次の式のあ、い、う、えのどの計算をした結果を表していますか。1つ選んで、その記号を書きましょう。

$$\begin{aligned} 88 \div 2 &= (\underbrace{80+8}_{\text{あ}}) \div 2 \\ &= \underbrace{80 \div 2}_{\text{い}} + \underbrace{8 \div 2}_{\text{う}} \\ &= \underbrace{40+4}_{\text{え}} \\ &= 44 \end{aligned}$$

(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができる。【A/思】

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

2

式の意味 数量の関係

3

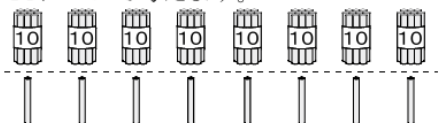
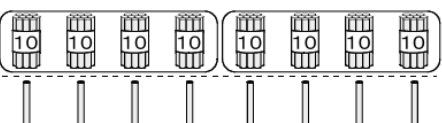
○式の提示の工夫

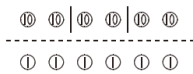
○式の意味を説明する場

→具体物や図などの算数的な表現を用いて

→問題場面に立ち返って

→筆算は手順だけの習得にならないように
具体物や図で表して

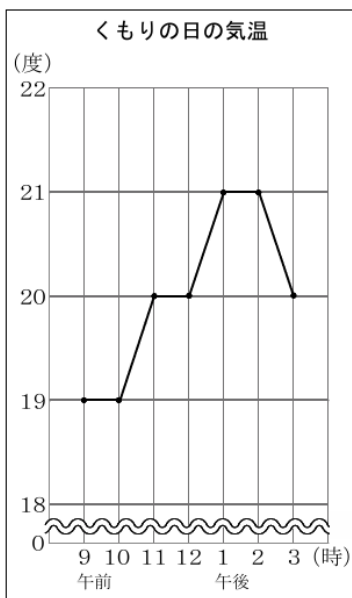
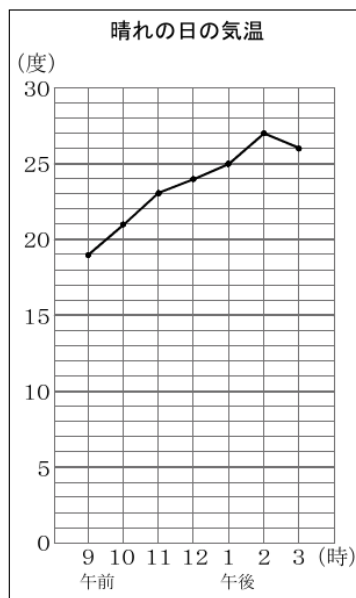
【88÷2の筆算】	【まことさんの説明】
手順1 $\begin{array}{r} 2 \overline{)88} \end{array}$	80について考えます。 
手順2 $\begin{array}{r} 4 \\ 2 \overline{)88} \\ \underline{8} \end{array}$	
手順3 $\begin{array}{r} 4 \\ 2 \overline{)88} \\ \underline{8} \end{array}$	8について考えます。 

66÷3の筆算	具体物や図	式
手順1 66を3で割る。 $\begin{array}{r} 3 \overline{)66} \end{array}$	10を⑩、1を①で表して、 ⑩6個と①6個を3等分 します。 	$66 \div 3 = (60 + 6) \div 3$
手順2 $\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \end{array}$	⑩6個を3等分します。 	$60 \div 3 = 20$


60÷3=20のことですね。

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

4



グラフから変化を読み取り、示された事柄が正しくないことを判断し、その理由を記述することができる。【D/思】

正答率 34.5 %
無解答率 4.0 %



午前10時から午前11時までの間の気温の変わり方をくらべると、くもりの日のほうが気温の変わり方が大きいと思うのですが、どう思いますか。

グラフの見かけにだまされない

目盛りの付け方によって、どのように見え方が変わるかを
実感することが必要

→自分で極端なグラフをつくってみる

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

5

空気でっぼうの玉が飛んだきより



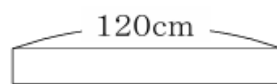
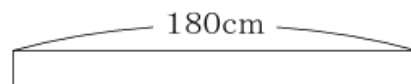
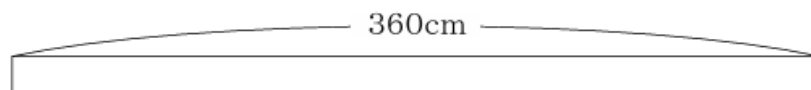
とおる



みさき



こうじ



みさき

わたしの記録は180cmで、とおるさんの記録は360cmですね。180cmを1としたとき、360cmは2にあたる大きさになりますね。



とおる

「180cmを1としたとき」とは、どういう意味ですか。180cmは1mではありません。



みさき

「180cmを1としたとき」というのは、「180cmをもとにしたとき」という意味です。



こうじ

なるほど。「1とする」とは、「もとにする」ということなのですね。

それなら、わたしの記録の120cmをもとにして考えてもいいのでしょうか。



調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

5



もちろん、いいです。どんな大きさでも1として考えることができます。

こうじさんの記録の120cmを1としたとき、360cmは⑦にあたる大きさになります。

割合を求めることができる。【C/知】

正答率	71.4%
無解答率	3.0%

基準量を「1」とみる

一方を基準量としたときに、他方の数量がどれだけに相当するかという数量関係に着目することが大切

まずは、基準量を「1」とみる見方

そして、多様な数量を基準量「1」とみる見方を繰り返す

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

5



もちろん、いいです。どんな大きさでも1として考えることができます。

こうじさんの記録の120cmを1としたとき、360cmは⑦にあたる大きさになります。

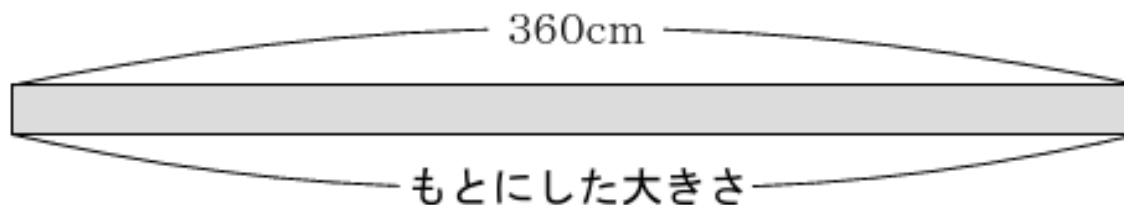
割合を求めることができる。【C/知】

正答率 71.4 %
無解答率 3.0 %



こうじさんの記録の120cmを1とすると、みさきさんの記録の180cmは④にあたる大きさになります。

では、360cmを1とすると、180cmはいくつにあたるのですか。



小数を用いて倍を表すことを理解している。【C/知】

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

5

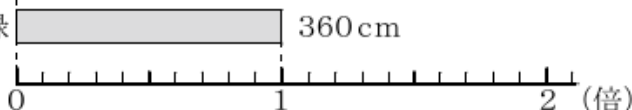


こうじ

もとにする大きさのほうが大きい場合は、わかりづらいですね。
360cmを1とすると、180cmがいくつにあたるかは、
⑤ という式で求められます。
図に表してみます。

みさきさんの記録

とおるさんの記録



割合を求める立式ができる。【C/知】

正答率 12.6 %
無解答率 6.2 %

基準量をもとに比較量を図に表すことができる。【C/思】

正答率 61.3 %
無解答率 10.3 %

割合の見方

- 式や答えだけでなく、図に表す
 - 図の書き出しを考慮（基準量「1」を示すか）
 - 数量の関係をつかめたか
 - 小数倍、純小数倍の理解
- 簡単な場合に置き換える
 - 「～の何倍か」として、統合的・発展的に考える

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

6



ゆいな

わたしは、好きなおにぎりの具とのりについて、アンケートを行いました。

好きなおにぎり調べ（人）

		のり		合計
		ま く	まかない	
具	さけ	7	6	13
	こんぶ	5	4	9
	うめ	2	1	3
合計		14	11	25

二次元の表の見方



しおり

「具」について、「こんぶ」を選んだ人数は、「うめ」を選んだ人数の④倍になっています。

では、「のり」について、「まく」を選んだ人の中で、どの具を選んだ人がいちばん多いかは、表の中のどの数をくらべるとわかりますか。

正答率 49.6%

無解答率 3.7%

データの特徴や傾向など

○見いだしたことを伝え合う

表のどの部分から、グラフのどの部分からそのように考えたのかを明確にする

表やグラフを示しながら、伝え合うことが必要

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

6

図書アンケートの2つの質問の結果 (人)

		9月に図書室で 5冊以上借りましたか		合計
		はい	いいえ	
読書が 好きですか	はい	①	②	③
	いいえ	④	⑤	⑥
合計		⑦	⑧	189

令和3年度
全国学力学習状況調査

正答率 62.3%
全国比 -5.2%

場所と落とし物の種類別の落とし物調べ (こ)

場所	消しゴム	えん筆	ハンカチ	ティッシュ	その他	合計
教室	7	2	0	0	2	
体育館	0	0	2	3	0	
音楽室	①	0	0	0		
理科室		1	0	0	0	
運動場	0	0	1	0	0	
合計						⑤

令和4年度
ステップアップテスト

正答率 50.9%
無解答率 14.0%

4

11月のお客さん調べ (人)

		スカート	
		買った	買わなかった
ズボン	買った	① 8	② 92
	買わなかった	③ 72	④ 283

令和5年度
ステップアップテスト

正答率 52.3%
無解答率 12.0%

6

二次元の表の必要性和よさの感得

○身近な二次元の表

→時間割表（3年生）

→統計グラフコンクール受賞作品

○複数の観点からデータを整理・可視化できる

→複数の観点が必要となる問題設定

→どのように整理すればわかりやすく伝えられるかを問う

→新たな結論に出合う経験

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

6 対角線に関わる性質から、ひし形を判断することができる。【B/思】

正答率 39.7 %
無解答率 7.8 %

- (6) しおりさんは、長方形、正方形、台形、平行四辺形、ひし形のそれぞれの対角線について調べ、次の表のように、A、B、Cの特ちょうがいつもあてはまるものには○、あてはまらないものには×をつけ、整理しました。表の⑦にあてはまる四角形の名前を書きましょう。

	()	長 方 形	(⑦)	()	()
A 2本の対角線の長さが等しい。	○	○	×	×	×
B 2本の対角線がそれぞれのまん中の点で交わる。	○	○	○	○	×
C 2本の対角線が れい 垂直に交わる。	○	×	○	×	×

図形を構成する要素

- 構成⇔分解
- 補助線にかく習慣
- 他の図形と比較

指導に生かす評価

- 日常生活の問題

- 学習のねらい

ねらいの
達成

- 個人解決

どこにつまずいているのか

(A B C)

学び合い

考えの深まり・高まり

- 学習のまとめ

- 評価問題

- 評価問題での解決 (A B)

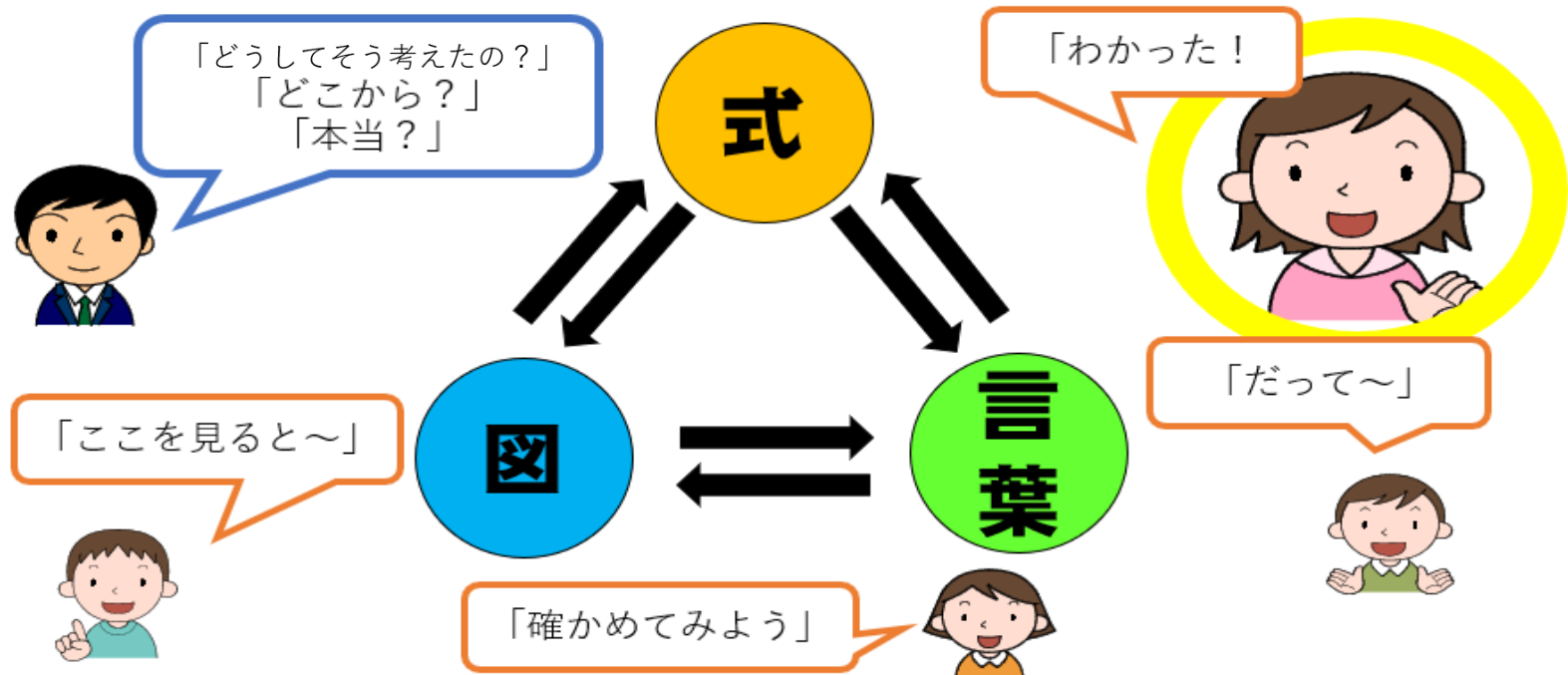
- 学習感想

フラス
図や理由

教師は説明するのではなく、つまずきを問い返す

〇〇さんが～って言っていますが、～ってどういうことかな。
ペアで話してみよう。みんなに話してみよう。

数学的な表現をつなぐ

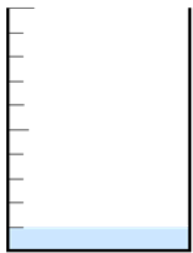


教師はわからない児童に共感し、味方になる
自己肯定感を大切にしてみんなでわかっていこうとする学級に

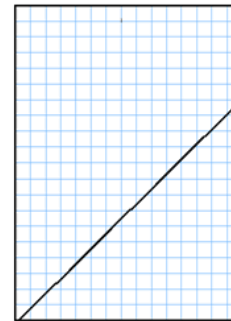
数学的な表現をつなぐ

数学的な表現

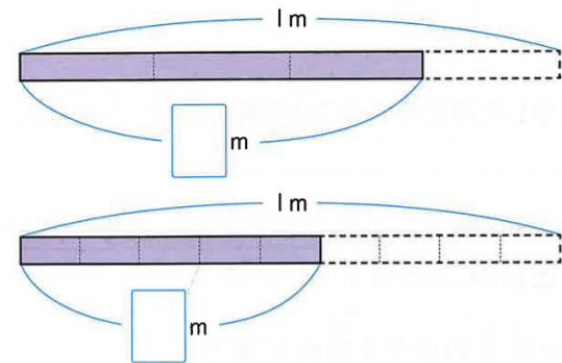
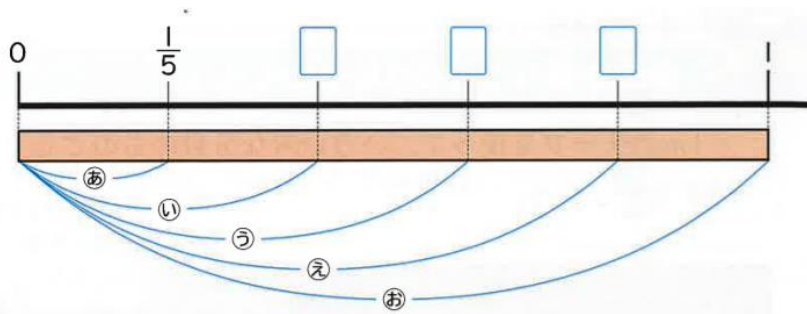
具体物 図 数 式 表 グラフ 相互の関連



$$y = 3 \times x$$



		○	×
	○		
	×		



適用問題では「図」や「理由」を

- 日付 授業番号
 - 算数の問題
 - 学習のねらい
 - (見通し)
 - 自分で解決する
(友達の意見を聞いて書き加える)
- 友達の考えを写す
 - 学習のまとめ
 - 適用問題の解決

プラス

**図に表しましょう
理由を書きましょう**

算数科における「令和7年度の重点」

目指す子供の姿

- 数量や図形に関する基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けている。
- 筋道立てて考え、具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて事象や問題解決の過程を簡潔・明瞭・的確に表現したり、統合的・発展的に考察したりしている。
- 算数の楽しさやよさを実感し、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしている。

算数科における「令和7年度の重点」

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

①学習評価を充実させ、学びの質を高める

◇本時だけでなく、単元を通してどのような資質・能力を育成するのかを把握する。『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料小学校算数』をもとに、評価規準の設定や単元計画の作成を行い、評価問題を工夫する等、児童の学びの質を高める。

②児童の学びのプロセスを重視し、児童が意味や根拠を説明できるようにする

◇児童が新しい問題に出合ったとき、自ら既習内容を振り返り、関連する内容を糸口として問題解決できるように、教師は「どうすればよいですか」等を問い、児童が既習内容と関連付けられるようにする。

◇児童が意味や根拠を考え、説明できるように、教師は説明ばかりするのではなく、意見が出たあと「～さんは、なぜそのように考えたのかな」とあえて全体に問いかけることで、数学的な見方・考え方を顕在化させ、完成した図や式でなく問題解決の過程を共有できるようにする。また、児童のつまずきを事前に想定し、図による可視化等、解消できる方策をもつようにする。

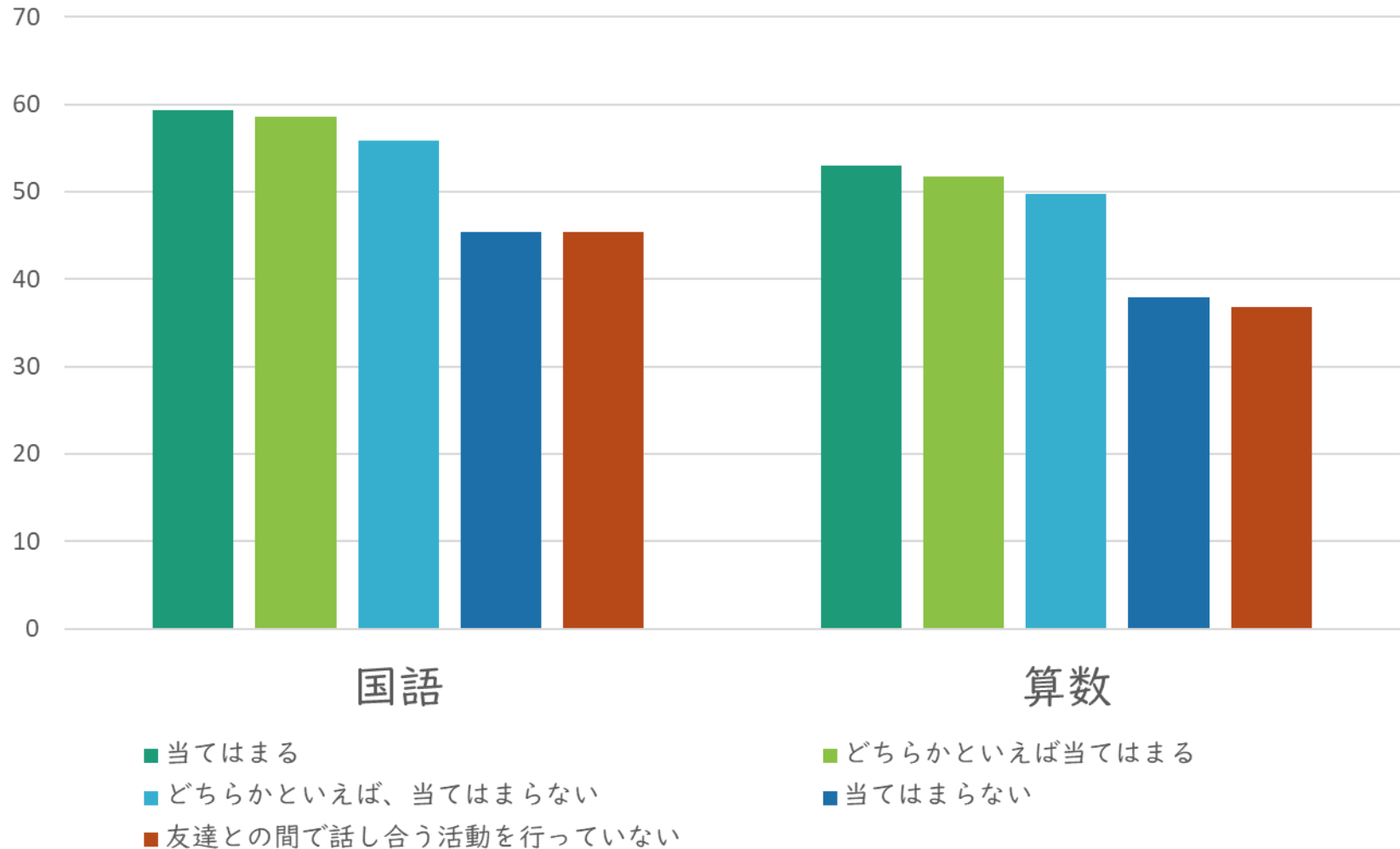
◇児童が統合的・発展的に考察することができるよう、振り返りにおいて、既習内容との共通点から一つのもので捉え直したり、考察の範囲を広げて新たな問題を見いだしたりする場を確保する。

③学級全体で児童が学び合うことを価値付ける

◇児童が「自分だけ分かればよいのではなく、学級の全員が分かること」を目指し、協働的に学ぶことができるように、具体物、図、言葉、数、式、表、グラフ等数学的な表現を目的に応じて柔軟に用いる場を確保する。ICTは、「デジタルの力でリアルな学びを支える」という考えに立ち、資質・能力の育成のために積極的に活用する。

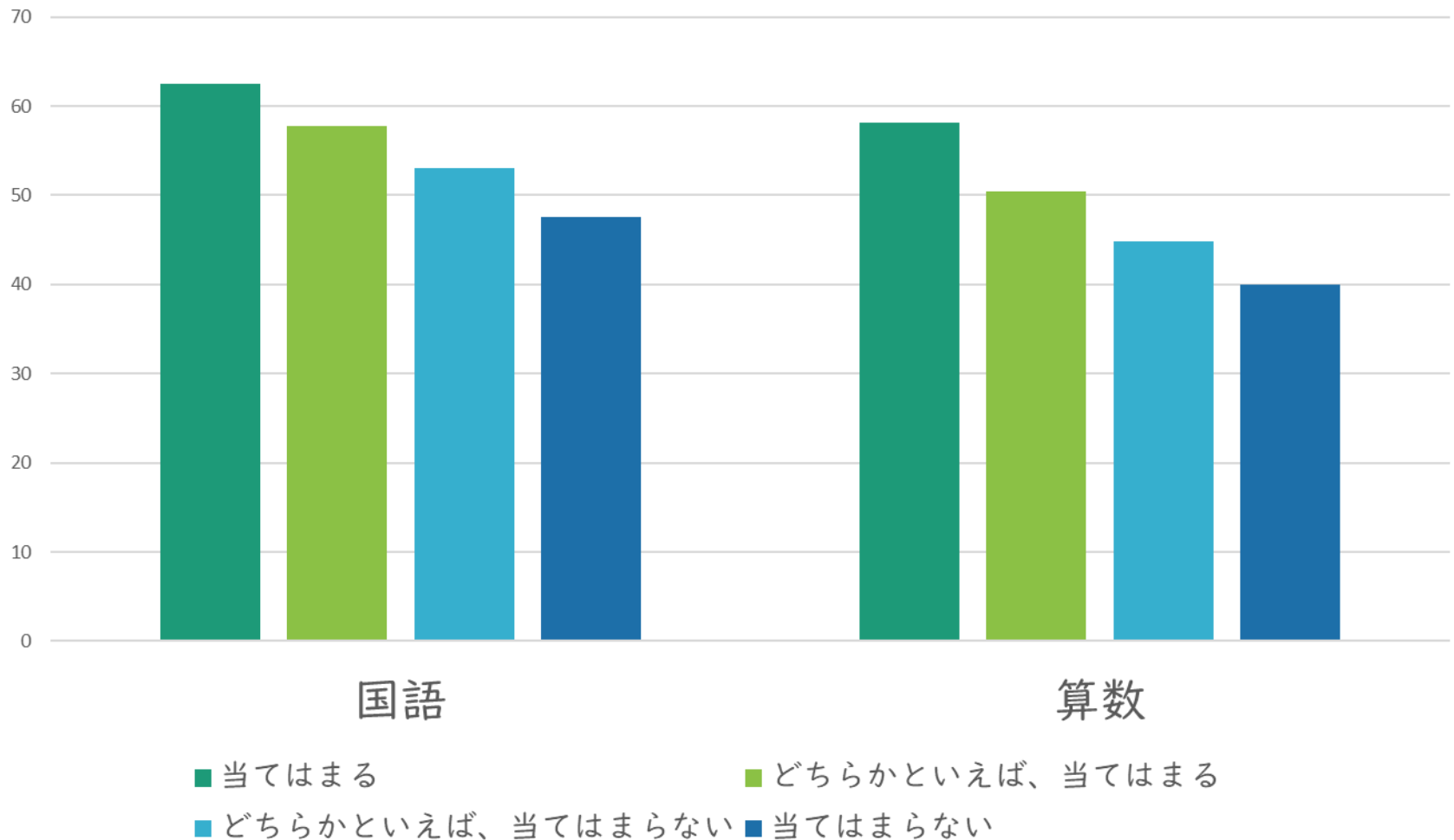
ステップアップテスト質問紙から

(10) 友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。



ステップアップテスト質問紙から

(11) 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



「教師が教える授業」



「子供が考え、判断し、表現する授業」

- ・ 学び方を学び、持続可能な学力向上へ

すべての教育活動を通して
すべての教師で
授業改善と学力向上に
取り組んでいきましょう！